

Bユニット

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	24		
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3		
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人として、その人らしく、普通に暮らしていける。」との独自の理念を挙げており、個別性を重視した理念となっている。しかし、「地域」を視野に入れた理念としては課題が残されている為、地域密着サービスとしては反映に至っていないように思える。	1	「地域密着サービス」を視野に入れた理念を検討し、今後のサービスに反映していくように努める。	
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	問題があれば、毎月一回のケアカンファレンスや申し送り等で「その人らしい生活」を念頭に置き、話し合いを行い記録に残すようにしている。	1	職員採用時には理念を伝え、理解してもらう様に努める。	
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	玄関やリビングに掲示し、来訪された皆様に御理解して頂く様努めているものの、近隣の皆様が来訪される機会が殆んど無い為、浸透していないと思われる。	1	ホーム便りを定期的に(3～4ヶ月に1回)発行し、御家族や近隣の方々に理解を求める。	
		2	2 地域との 支え合い	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
			4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	外出する機会が少ない為、近隣の方々と挨拶を交わしたり、話しをする機会が少ない。	1	外出する機会を多く持ったり、近隣の皆様に参加して頂ける様な行事を企画する等して交流を持てる環境作りに努める。
		5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の桜祭りや年末の餅つきに参加する等しているが、限られた入居者様しか参加出来ていない。	1	運営推進会議等を通じて地域活動や地域行事への参加をより多く持ち、施設全員の入居者様が地域交流できる様に努める。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 え 域 合 の い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	今年度については、取り組みを行っていない。	1	老人クラブの食事会へ出向き、「認知症ケア」等の説明を計画している。また、地域の皆様に参加して頂ける様な介護教室等の開催や認知症に関する相談場所として確立できるように努める等認知症ケアの啓発に努める。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
		7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービスのマンネリ化を防ぎ、質の高いサービスの提供が出来る様見直す。この事を全職員が理解しており、自己評価を全職員で取り組んでいる。その結果については、毎月一回のケアカンファレンス等で報告し改善に努めているが、改善に向けての実践に繋がっていない。	1	今後は、改善に向けた具体案に対して取り組んだ内容の評価、反省を行う。
		3 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	委員の皆様事前に会議内容を文章にて配布し、会議への参加を呼びかけると共に意見の収集を行っている。また、会議では行事内容、事故等の報告を行い、意見や要望を頂く事になっている。実施状況については、次回の会議にて報告している。職員への報告は内容に応じて、毎月一回のケアカンファレンスや申し送りノートを活用して	1	委員の皆様意見を反映した事項を実施出来る様検討すると共に、御家族や地域の皆様の協力を得られるような取り組みを行なっていきたい。
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の報告や事故報告書の提出、認定更新の為書類提出以外に行き来する機会はない。しかし、市が主催する研修会や交流会には積極的に参加するようにしていると共に、課題や問題が発生した場合等は電話で相談するように努めている。	1	イベントへの参加依頼やホーム便りの発行等積極的な連携に努める。
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれを活用できるよう支援している	職員は、関連事業所との合同勉強会に参加する等して理解するよう努めている。御家族の皆様には家族会等を通じて説明する様にしているが、必要に応じてその都度管理者が説明する様にしている。	1	行政の出張サービス等を利用した研修会、説明会を開催する等して、職員や御家族の皆様にも更なる理解を得られる様な機会を設けるよう努める。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	独自のマニュアルを作成し、それに添ったケアを行うと共に日々のミーティングや毎月一回のケアカンファレンスを利用して気が付いた点等を話し合い、注意を払っている。関連法に関して学ぶ機会は設けていない。	1	関連事業所の合同勉強会に提案したり、行政の出張サービス等を利用した研修会、説明会等を開催して学ぶ機会を設けるように努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	7	
理念に基づき 運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前に事業所見学をして頂ける方については本人も同伴して来て頂き、利用料金の説明や御本人、御家族の希望や要望を聞くようにしている。また、入居時には重要事項の説明や起こり得るリスク、重度化、看取りについての対応、医療連携の実態等を時間を取って説明し同意を得ている。	1	可能な限り御本人や御家族の気持ちになり、将来の事を含めて疑問等を引き出し、それに対して十分な説明を行えるよう努める。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様の言葉や態度からその思いを察する努力を行い、入居者様本位の運営に努めると共に毎月一回のケアカンファレンスや日々のミーティング等で入居者様の気持ちや意見要望を共有し、それらを運営に反映出来る様努めている。	1	運営推進会議に入居者様が参加し、意見や不満、苦情を表せる機会を設ける等の取り組みを検討する。
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理については、経理から書面にて定期的に郵送し報告している。入居者様の健康健康状態については、御家族が来館された時に報告し、緊急時にはその都度電話にて報告している。また、館内に写真を掲示し日々の様子が分かるようにしている。職員の異動については事前報告はしていないものの、ユニットの入口に写真を掲示してい	1	ホーム便りの頻度を増やすと共に、介護支援専門員から定期的に文書や電話等を利用して報告するよう努める。
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族に対して家族会等で意見や要望等を気軽に伝えられる様な雰囲気作りを心がけている。また、頂いた意見や要望については職員間で話し合い反映させ、サービスや質の向上に努めている。	1	御家族等と職員が顔の見える関係が作り易い特徴があるが、率直な意見を言い難い状況も生まれる為、職員も含め外部者に安心して表せる機会を積極的に設ける。
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月一回のケアカンファレンス等で意見を出し合って具体的に話し合う機会を設けると共に、必要に応じて個人面談を行い反映出来る様努めている。	1	日々のミーティング等でも話し合える時間が確保出来れば、その都度話し合うようにして意見の反映に努める。
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	施設全体のイベント開催や入居者様の外出支援には通常勤務者と別に職員を確保する等柔軟な対応に努めている。	1	管理者が状況に応じた勤務が出来る様に、通常勤務に換算しない等柔軟な体制作りを努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	毎月3日の勤務希望を受け入れると共に雇用条件に合わせた配置を行っている。また、突発的な勤務変更も可能な限り了承している。不定期ではあるものの、個人面談や食事会を実施する等職員のストレス解消に努めている。入職及び異動時にはきちんと入居者様に紹介している。	1	職員の意識統一、レベルアップを図る事で入居者様のダメージを防ぐ配慮に努める。
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	6	
	5 人材の育成と支援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	募集、採用に至っては性別や年齢、経験、資格を理由に排除していないものの勤務時間や曜日の希望のある人については本人に対して面接時に確認している。資格取得を希望するときには試験前日は休みにする等の配慮をしている。また、希望する研修等にも積極的に参加できる様配慮している。	1	突発的な事態が発生しても対応出来る様職員の確保に努める。
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	毎月一回のケアカンファレンスや日々のミーティングの中で人権尊重を踏まえて話しをするようにしている。	1	関連事業所の合同勉強会に提案したり、行政の出張サービス等を利用した研修会、説明会等を開催して学ぶ機会を設けるように努める。
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新入職員については独自の指導マニュアルを作成して個人に合わせた指導を行い離職防止に努めている。既存の職員については、関連事業所と3ヶ月に1回合同勉強会を開催すると共に県や市、GH協議会主催の研修会及び交流会には積極的に参加するよう努めている。また、後日資料を回覧する等して内容の共有に努めている。	1	ミニ勉強会の開催や研修等への参加を可能な限り実施していく。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	GH協議会やサービス事業者協議会に加入し、研修会や交流会等に参加して同業者との情報交換に積極的に取り組むようにしている。	1	日々情報交換が行える様、インターネットの導入を検討しネットワーク作りに努める。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	問題発生時には、その都度個人面談を行ったり、不定期ではあるものの食事会を実施する等してストレスの軽減を図れるようにしている。職員の休憩する場所が館内がない。	1	日々の何気ない会話から職員の悩み等を読み取る等積極的なコミュニケーションを図るよう努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	組織として独自の就業規則を作成し、労働条件を整えている。また、年2回の健康診断を義務化し取り組んでいる。資格取得後は、本人の意向を重視しながら相談し、妥当な立場で業務が行える様努めている。	1	個々の状況を直接情報収集する機会を多く持つよう努めて頂く。
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	10	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	4	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談があった際には、御本人を含め御家族の方と可能な限り直接面談を行い、センター方式を用いて生活状態、要望等を理解するように努めている。意思疎通が困難な方については、御家族の方に可能な限り詳細に情報収集するようにしている。入居決定後は自宅訪問し更なる情報収集に努めている。	1	ショート利用等体験的にして頂き、事業所の雰囲気を実際に味わって頂いてから入居の有無を判断して頂く様努める。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居相談があった時点で可能な限り、事業所を見学して頂き、入居相談に至るまでの経緯や今後の御希望等を話す機会を設け、御家族が求めているものを理解し、事業所としてどの様に対応出来るかを話し合うように努めている。	1	電話のみの入居相談であっても、可能な限り来館して頂く様お声掛けし直接面談できる機会を持つように努める。
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談があった際には、御本人や御家族の思いや状況確認しGHの入居が適切か否かを見極め、他のサービス利用をアドバイスしたりしている。	1	必要と思われる際には関連事業所の居宅サービスや行政の担当者に面談時同席して頂いて、より良いサービス利用が出来る様努める。
		28 外部評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	病院系列である為、意思疎通の困難な方がいきなり利用開始になるような事が多いものの、可能な限り御本人や御家族に見学に来て頂き雰囲気を体験して頂く。また、入居後は慣れるまでの1～2週間は職員が頻繁に関わりを持ち、御家族には可能な限り面会に来て頂く様お願いしている。	1	病院系列であっても、体験利用して頂いた後に利用して頂ける様努める。
		2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	6	
係り2 継続これ までの関 係への支 援関係 づく 開く	29 外部評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者様の得意分野を見つけ出し、レクリエーション等を通じて発揮出来る機会を多く持つように努めている。また、汁物の味見をして頂いたり、昔の歌等教えて頂いたりしながら、コミュニケーションを多く取りお互いが和やかに生活出来る様努めている。	1	本人の思いを知る事に努め、入居者様は人生の先輩である事を考え支援に努める。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	日々の状態は個人記録に残し、御家族が面会に来られた時にはその都度日々の様子を伝える様にし、担当者会議等を通じて、情報共有並びに協力関係を気付ける様努めている。また、対応に困った時等は御家族に御協力して頂いている。緊急時には、こまめに連絡を取り合い状態説明や対応方針等を説明する等の対応をしている。	1	担当者会議を通じて、日々のケア方針等を話し合いケアプランとして御家族担当部門を作る等、御家族の方にも御協力頂き、共に御本人を支える為の支援が出来るよう努めている。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	季節行事に御家族の参加を呼び掛けたり、定期的に家族会議を開催する等して情報交換を行っている。御家族の面会時には一緒に過して頂く様お願いしている。	1	疎遠傾向にある御家族には、ホーム便りや定期的な連絡で生活状況を伝えるようにし、御本人との架け橋になるよう努めている。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様の「馴染み」に関しての具体的な要望が聞き取れない事もあり、現時点では出来ていない。	1	御家族を通じて、可能な限り知人の方に面会に来て頂く等関わりを継続して行ける様努める。
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事やおやつに時間は、職員も入居者様の輪に入り、入居者様同士の関係がスムーズになる様支援している。	1	御不満や御意見が出た時に限らず、個別に話しをお聞きしたり、相談に乗る等の機会を多く持つ様に努める。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	関連事業所や系列病院に移っている方が多い為、職員が時折訪問したりしている。	1	他の事業所に移られた方にも、行事に招待する等継続的な付き合いが出来る様に心がける。
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	11	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	2	
1	35 外部 評価 17	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で声掛けし。言葉や表情、行動等で把握出来る様に努めている。特に困難な方については御家族より情報を得て検討する様になっている。また、御本人のペースを尊重して食事や入浴の時間は自由にする等の対応を行ない、本人本位に努めている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	特に、新しい入居者様に関しては会話やレクリエーション等で以前の暮らしを話して頂く機会を多く持ち、少しずつでも把握に努めている。また、御家族や知人の方からも情報を得る様にしている。	1	馴染みの物が少ない居室があるので、再度御家族や知人の方に持って来て頂く様おねがいする。
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活リズムや一日の過ごし方等個人記録や申し送りノートに残し、職員全員で状態の把握に努めている。また、情報の中で「出来ない」と言われていた部分については必ず一度はチャレンジして頂き状態把握に努めている。	1	毎月一回のケアカンファレンスや日々のミーティングで再確認しあい全体的な把握に努める。
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	1		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価 18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々の関わりの中で、御本人の望む生活や不安、不満等を聞き御本人の意見を尊重した介護計画を作成している。また、サービス担当者会議には御本人、御家族を含め医師や看護師、ケアワーカー、PT、OT等可能な限り参加して頂き作成に努めている。	1	御本人の希望に応じた外出やボランティアを取り入れた介護計画になる様努める。
		39 外部評価 19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の進行状況や評価等を日々の記録に残し、定期的に(6ヶ月に1回、急激な状態変化時はその都度見直し)見直しを行い、御家族を含めたサービス担当者会議を行うように努めている。また、ケアマネにより、毎月一回もモニタリングを実施している。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画の内容でケアを行った上で、どう実践しどんな反応があったかを詳細に記録する様にしている。また、ケアプランの具体的な項目に番号をつけ個人記録の枠に実践したプランの番号を記入する様にしており、見直しに生かせる様取り組んでいる。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	1		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価 20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	関連の医療機関と医療連携体制を結び、24時間対応に努めている。また、希望に応じて、看取りまでの生活継続をして頂ける体制を整えていると共に、ショートステイの利用も可能となっている。	1	地域で在宅生活を送られている認知症高齢者を把握し、緊急時に馴染みの環境と職員によるショートステイが提供出来る様努める。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42～51・外部 21～22)	自己評価10項目・外部評価2項目	7	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	消火避難訓練を年2回実施し、消防署と災害時における連携を確認すると共に、意見交換する機会を設けている。また、2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、民生委員の方を含め自治会等の皆様に参加して頂き、支援の協力を行っている。	1	地域の小学校や幼稚園等交流が図れる環境作りに努める。
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	毎月訪問理美容サービスに来て頂き、御本人や御家族の希望に添った髪型にして頂いている。また、ヤクルトの訪問販売も受け入れている。関連事業所で開催されている音楽療法にも参加させて頂いている。	1	出向くだけでなく、向かい入れるイベントの開催等検討し、更なる連携に努める。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に委員として参加して頂いている事で、意見交換や情報交換をする機会を設け協力関係が築ける様努めている。	1	イベント等の参加を通じて関わりを持てる機会を更に多く持つ様努める。
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関の往診の他に、御本人や御家族が希望される医療機関（眼科、皮膚科、精神科、心療内科）並びに主治医への通院介助を行っている。口腔関係については、かかりつけ訪問歯科診療を利用したりと常に築いている。	1	利用契約時及び受診前に御本人と御家族に説明し、同意を得ている。
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	開設当初より専門機関と医療連携を結んでをり、処方や相談必要に応じて検査をして頂いている。また、必要に応じて精神科受診を行っている。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	平日は看護師が常勤として配置されており、その他にも関連医療機関の看護師によるラウンドが定期的に（2週間に1回）行われており、気軽に相談出来る体制が整っている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には御本人の支援方法や身体状況等を介護サマリーにて医療機関に提出し情報の提供を行っている。また、入院中は職員が面会すると共に病院関係者や御家族と積極的に情報交換を行い、早期退院や退院後の支援に結び付ける様努めている。	1	入院された場合、安心出来る様に馴染みの物（写真や人形、カレンダー等）を病室に置ける様医療機関に協力して頂く。
		49	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	御利用契約時に御本人及び御家族から御希望を伺うと共に「終末期のあり方について」や「どこまでのケアが必要なのか」を話し合い方針を決定している。また、状態変化の際や終末期になった際には、再度医師を交えて御家族に方針の確認を行い、方針の共有に努めている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期には、御本人と御家族の意思を尊重し安心して納得した最期を迎えられる様医師や看護師、職員とが連携して意思確認しながら取り組む様にしている。また、毎月一回のケアカンファレンス等を利用して終末期ケアの方針について検討する機会を日頃から持つ様努める。	1	御家族の面会時や電話等で状態の報告を行うと共に、意思の確認にも努めている。
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の事業所等へ移られる際には、これまでの生活環境、支援の内容、留意点等介護サマリーとして文章で提供し、暮らしやケアの継続が保たれる様努めている。	1	馴染みの職員が訪問する等の機会を作り、ダメージの防止に努める。
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	30	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	23	
		52	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	1	
			プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者様には、馴染みの呼び方や好まれる呼び方でお呼びしている。また、人前であからさまに介護したり、誘導の声掛けには配慮している。勉強会等入居者様のケアについての個人情報は御家族に確認して上でイニシャルを使用する等学ぶ機会を設け、プライバシー保護に努めている。	1	日々の職員間での入居者様に対する情報伝達は、小声で行ったりイニシャルを使用する等で伝達する。
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	入居者様に合わせた声掛けや意思表示の困難な方には表情やジェスチャーを読み取る等自己決定の支援に努めている。また、入浴や食事の時間、服装や散歩、レクリエーションの参加、お茶の種類等事前に声掛けを行い、自己決定の尊重に努めている。	0			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるものの、起床や食事、入浴、就寝等の時間を入居者様一人一人のペースに合わせて、柔軟な個性のある支援を行っている。	0	
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	4	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理美容は訪問して頂き、御本人や御家族の希望に添った髪型にして頂いている。整髪、洗面、髭剃り等基本的な身だしなみの介助は行っているが、「その人らしい身だしなみ」については出来ていない。	1	自己決定が困難と思われる入居者様が多い為、御家族に以前はどうされていたか等伺いその人らしい身だしなみやおしゃれが出来る様支援する。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事をする際には、職員が同じ物を同じテーブルで食べ、楽しく食事が出来る様に努めている。また、毎食の汁物や日曜日の夕食等で味見をして頂いたり入居者様のレベルに合わせてお手伝いして頂いている。	1	職員と一緒に外食を楽しむ機会を設ける等を検討し、支援に繋げる。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつや献立を入居者様の嗜好に合わせる等工夫をしている。また、御家族に御本人の好きなお菓子や飲み物、食べ物を持って来て頂きおやつ以外の時間以外にも食べて頂く等して頂いている。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンや習慣を個人記録に残す等して把握する様にしている。また、尿意の無い入居者様にも時間を見計らって誘導する事で排泄の失敗の減少やトイレでの排泄確立に努めている。オムツやパットの必要性については毎月一回のケアカンファレンス等で検討、見直しを行うようにしている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には入浴日を決めているものの、入居者様の希望をその日の内に伺う様にし、希望されない方については翌日再度声掛けする等して希望された日に入浴が出来る様支援している。また、拒否の強い入居者様に対しては足浴や清拭、更衣等の声掛けを行い無理強いをしないよう努めている。	1	昼夜を問わず入浴出来る環境作りを検討する

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の体調や希望を考慮してゆっくり休息が取れる様にソファやベッドでお昼寝をして頂いている。また、空調や照明も同様に希望に応じて調節している。	1	散歩等日中の活動を促し、夜間の良眠に繋がる様努める。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	6	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯物たたみや広告のチラシ分け等個々のレベルに合わせ、御自分で出来る事は可能な限りして頂く等の機会を多く持つ様に努めている。	1	潜在している記憶等を最大限に行かした役割り、楽しみ事、気晴らしの支援に努める。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的に事務所で管理しているものの、御希望される入居者様には御家族の了承を得て所持して頂いている。また、使用についても御本人にお任せして、好きな様に使える様支援している。	1	買い物をする機会を増やす等日々の生活の中でお金が使う機会を増やせる様努める。
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気候がよい時期には、近所への散歩に誘ったり、希望する入居者様にはスーパーへ買い物の援助をしている。また、年に数回はドライブを兼ねて花見や初詣等遠出する機会を設けている。	1	遠出する機会を増やして行ける様努める。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者様や御家族からの要望が無い事もあり、支援するに至っていない。	1	日常会話の中から、行きたい場所を探し出し実現する為の方法を職員で話し合っ行って行きたい。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	事務所の電話をいつでも利用出来る環境はあるが、入居者様から申し出が無く利用されていない。また、手紙のやり取りの支援も出来ない。	1	御家族や大切な人に年賀状や暑中見舞い等を出せる様に支援して行きたい。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会時間は特に設けておらず、面会時には入居者様と一緒にお茶を飲んで頂く等気軽に訪問できる雰囲気作りに努めている。	1	御家族だけでなく、入居者様の馴染みの人達にも訪問して頂ける様に御家族に依頼する。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	6	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所独自の教育マニュアルを作成すると共に、毎月一回のケアカンファレンスや日々のミーティング中で職員の行為が拘束にあたらぬか確認し合い、共有意識を図っている。	1	その日のケアを振り返る機会を設け、自覚しない身体拘束が行なわれていないか確認する取り組みを検討する。	
		68	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	転倒、転落の危険性を踏まえ、御家族の皆様と職員とで検討した結果、事故防止を優先する目的で階段や玄関の内側扉を施錠するようになった。御家族及び職員は施錠しない事の大切さを理解しており、外出する際には開錠して支援している。	1	近隣の方々に理解を求め、入居者様が一人で外出されているのを見掛けた時は連絡して頂く等の関係作りに努める。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はその日のリーダーがリビング対応しており、他の2名の職員は居室等に居られる入居者様の対応と基本的に決めて職員間で確認し合っている。また、夜間においては2時間毎に見回りを行い、入眠を妨げない程度で必要に応じて時間を短縮する等安全に配慮している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物、火気類については職員管理にしており、希望に応じて貸し出す様にしている。その際は、職員全員で確認し合う事で危険を防いでいる。また、薬に関しては個々の状態に応じて職員管理にする様にしている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	関連病院に発足されている安全対策会議に参加し、毎月1回インシデント、アクシデントとして報告書を提出している。安全対策会議で検討された予防対策を持ち帰り、ミーティング等で報告し再発防止に努めている。	1	日々の申し送りの中でも予測される危険等確認し、共有するようにしている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	事業所独自のマニュアルを作成し、目に付く場所に掲示している。と共に、マニュアルに添った対応が各職員出来る様に周知徹底している。また、消防署の御協力を得て普通救命講習の研修会を受けて事故発生に備えている。	1	勉強会や研修会を定期的に行う機会を設ける等技術の習得に努める。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	事業所独自のマニュアルを作成すると共に、消防署の協力を得て年2回3月と9月に火災を想定した消火避難訓練を実施しており初期消火や避難方法の習得に努めている。また、災害時に備えて、缶詰や水、レトルト食品を準備している。地域の方への協力依頼については今後の課題である。	1	年2回に限らず、通報訓練等項目別に訓練を行う等して、技術の確立に努める。また、自治会行事へ積極的に参加し協力を得られる様努める。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	状況に応じて御家族に来訪して頂いたり、電話で報告する等して、状況報告や今後の方針等を説明する機会を設け話し合う様にしている。また、予測されるリスクについて職員間で話し合い、御家族に説明し、なるべく御本人の希望通りになる様対策を取っている。	1	来訪出来ない御家族については、その都度電話で報告する様にしている。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	6	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	職員は、些細な体調変化や表情の変化に留意し、「いつもと違う」事柄を発見した職員はバイタル測定や状態観察を行い、必要に応じて医療機関や管理者に報告して指示を仰ぐようにしている。	1	常に表情等を観察し、兆候を見落とさない様毎日のミーティングの中で確認し合い体調変化の早期発見に努めている。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が目を通せる様に「くすり手帳」を1つの入れ物に入れ、決まった場所に保管し把握出来る様にしている。また、服薬時には職員間で声を掛け合い、御本人に手渡しする等きちんと服薬出来ているかを確認している。	1	処方変更があった際には申し送りノート等を活用して職員共有に努める。また、服薬確認は声出し確認の徹底を図っている。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	朝食のメニューに乳製品を取り入れ毎朝飲んで頂いたり、水分補給の為に入居者様の好みの飲み物を取り入れたり工夫している。また、職員間で排泄状態を把握し決まった時間にトイレ誘導する等して自然排便を促すように努めている。	1	おやつメニューに食物繊維が多く入っている物や乳製品を取り入れ自然排便の促進に努めている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	見守りや介助にて、毎食後や就寝時、起床時等歯磨きやうがいを支援している。また、義歯の洗浄については毎日職員が行っている。	1	知識や技術の向上の為、提供医療機関に往診や指導をして頂いている。今後は、勉強会や研修会の参加に努める。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者様の状態に応じて、食事形態を工夫して食べて頂いている。摂取量（必要に応じて水分量も）については毎日チェック表に記入するようにし、情報の共有に努めている。また、定期的に給食会議を開催し、栄養士との情報交換やアドバイスを頂く機会を設けている。	1	御家族や職員、栄養士間でアイデアを出し合い、御本人の食生活を共に支援出来る様に努める。	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	事業所独自のマニュアルを作成すると共に、関連病院で開催されている感染対策会議に毎月1回参加して全職員で学習し、予防対策に努めている。また、インフルエンザの予防接種を職員と共に受けて頂いている。	1	各事業所で行われている感染症等の勉強会に参加し、感染に対する新しい情報収集、理解に努め流行に随時対応できる様に取り組んでいる。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器類は洗浄後加熱消毒を兼ねて乾燥機にかけており、まな板や布巾等は毎晩漂白し清潔に心がけている。また、冷蔵庫のチェックを毎日行い賞味期限が切れて物は処分する等安全管理に努めている。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	7	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	5	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先にプランターを設置し、四季折々の花等を植えて明るい雰囲気作りを演出する様にしている。また、敷地内に犬を飼っており、近隣の方々に可愛がって頂いている。玄関先には毎年ツバメが巣を作り御家族の皆様も喜んでおられる。	1	玄関の傘立てに無造作に傘が立てられている事がある為、整理整頓を意識する様にする。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節や行事毎に飾り付けを共有空間に行い、テーブルには季節の生花を飾ったりする等季節を肌で感じて頂いている。また、リビング等には光や風が入り、食卓やソファ、椅子等を配置し居心地良く過して頂く為の工夫をしている。	1	御自分の家を感じて頂ける様、使い慣れた物を持ち込んで頂いたり、御飯の炊ける音やまな板の音等を大事にしている。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールや廊下、リビングに椅子やソファを置き観葉植物やパズル等を飾り、入居者がゆっくりと居心地良く過せる空間作りに努めている。また、一人で過せるスペースも同様に確保している。	1	気候に合わせて、テラスにテーブルや椅子を設置しゆっくり過す工夫に取り組んでいる。	
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスとベット以外は、本人の馴染みの物や写真等使い慣れた日用品を持ち込んで頂いている。	1	今後も御本人や御家族と話し合いながら、居心地の良い空間作りに努める。	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝清掃を行う際には窓を開け、換気を行うと共に各居室に温度計を設置し、気候や入居者様御本人の状態や希望に応じて冷暖房の調整を行っている。トイレには消臭剤を置き、オムツ入れを開けた際には消臭スプレーを散布する等悪臭防止に努めている。	1	入居者様の状態に応じ、衣類等での対応にも心がけ、声掛けを行っている。	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	2	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下やトイレ、浴室には手すりを設置し、出来るだけ自力で歩行等を安全に行える様配慮している。また、廊下やリビングには必要最低限の物しか置かない様に等環境を整えている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の入口には、ネームプレートや花等を付け目印としたり、個人の持ち物と共同の持ち物が区別出来る様名前や施設名を記入している。また、毎月一回のカンファレンス等を利用して御本人の力が活かされる様話し合い支援している。	1	入居者様の認識相違等を最小限に抑える工夫を検討する。	
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	植木鉢やプランターに花を植えたり、敷地内に犬を飼う等して触れ合う環境作りをしている。また、施設横の駐車場スペースを利用し、夏祭りや餅つきを開催する等有効活用に努めている。	1	ベランダのスペースを有効利用出来る様検討する。			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいき きたい項目	取り組んでいき たい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	3		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。